



令和7年度 一関市立藤沢小学校 まなびフェスト

子どもが育つ学校づくりには、学校・家庭・地域の連携が必要です。学校教育目標に基づき、3つの領域（知・徳・体）から具体的な目標を設定しました。ご理解とご協力をお願いいたします。



一関市立藤沢小学校

学校の教育目標	子どもが育つ学校		
	(知) 進んで学ぶ子	(徳) 思いやりのある子	(体) 体と心をきたえる子
つきたい力	基礎学力	共感力	生活習慣力
めざす児童の姿	(1) 学ぶ楽しさがわかる児童 (2) 基礎学力が身についた児童 (3) 家庭学習に進んで取り組む児童 	(1) 夢や目標をもつ児童 (2) 自分の良さがわかる児童 (3) 自他を認め、支え合う児童 	(1) 健康な身体づくりに取り組む児童 (2) あきらめずにチャレンジする児童 (3) 安全を考え、行動できる児童 
学校の重点取組 (めざす児童の姿に近づけるため、重点的に取り組む内容)	《基礎学力定着のための指導の工夫》 (1) 学ぶ楽しさが実感できる授業 ・既習事項の定着度を把握し、レディネスを整えて新たな学習に取り組めます。 ・子どもが必要感を感じる課題設定、テンポの良い展開、協働的な学びを大切に授業を目指します。 ・「ふりかえり」を大切に、主体的に学習に取り組む態度を育てます。 (2) 脳を育てる学習活動の推進 ・音読に継続的に取り組み、暗唱テストの合格を目指します。 ・読書への興味・関心を高める環境づくりを行います。 ・学びの場を広げ、体験活動の充実を図ります。 (3) 家庭学習・家庭読書習慣の形成と内容の充実 ・全校共通の家庭学習カードに取り組めます。 ・ICTの活用やリレーノートで家庭学習の交流を図り、内容の充実を図ります。	《心を育む生徒指導と心の教育の充実》 (1) 夢や目標をもつ児童の育成 ・カリキュラムマネジメントを行い、多様な人や本などから学ぶ場を大切にします。 ・目標を自己決定・実行し、ふりかえることで成長を自覚させます。 (2) 自己肯定感を育てる活動の推進 ・SWPBS（学校全体で取り組むポジティブな行動支援）に取り組めます。 ・児童の活躍の場を広げる教育活動を展開します。 ・児童会活動、学級活動を活発にしていきます。 (3) 「みんながって みんないい」と認め合える人間関係づくり ・ふじさわ挨拶が自分からできるよう働きかけます。 ・ふわふわ言葉があふれる取り組みを展開します。 ・「藤小 スマイル宣言」などルールの大切さを考えさせます。 ・いじめの未然防止や早期発見、解決に組織的に対応します。	《健やかな体を育む健康安全教育の充実》 (1) 基本的な生活習慣の確立 ・睡眠や食事の大切さを理解し、実践する意欲を高める働きかけを行います。 ・家庭と連携し、ルールや時間を守ってメディア機器を使用する態度を養います。 ・家庭学習強化週間にメディアコントロールの目標を設定して取り組みます。 (2) 体力向上と運動習慣の確立 ・体力運動能力調査への意欲を高め、結果分析、考察を体育指導に活かします。 ・60プラスプロジェクトによる体力向上、健康教育に取り組めます。 ・体育的行事で目標に向かってあきらめずに取り組む価値を大切にします。 (3) 主体的に考え判断できる力を育てる安全教育の推進 ・安全な生活を送るために考え、行動できる力を育てます。 ・教科や行事と関連付けた防災、減災教育に取り組めます。
目標値とその検証 (成果を確かめる方法と具体的な目標値)	(1) 「学習が楽しい」児童の割合 80% ・アンケートによる学期毎自己評価（4段階） (2) 学力テストの正答率の全国比100以上 ・全国学力調査（6年）県学力調査（5年）CRT 学力調査（全学年）国語・算数 (3) 家庭学習強化週間達成児童割合の目標値 90% ・藤沢中、黄海小と合同実施。各学期に1回実施	(1) 「夢や目標をもつ」児童の割合 80% ・アンケートによる学期毎自己評価（4段階） (2) 「自分にはよいところがある」児童の割合 80% ・アンケートによる学期毎自己評価（4段階） (3) 「学校が楽しい」児童の割合80% ・アンケートによる学期毎自己評価（4段階）	(1) 「60プラスプロジェクト」達成児童の割合 80% ・岩手県推進事業「いきいきチャレンジ」「かみかみチャレンジ」「すやすやチャレンジ」による学期毎自己評価（3段階） (2) メディアコントロール目標達成児童の割合 80% ・家庭学習強化週間カードによる学期毎自己評価 (3) 「安全を考えて行動している」児童の割合 80% ・アンケートによる学期毎自己評価（4段階）
家庭教育	① 家庭学習に集中して取り組める学習環境を整えましょう。 ② 毎日、家庭学習カードに目を通し、頑張っていることを認め、励ましましょう。 ③ 家庭読書の時間を大切にしましょう。	③ 子どもとの対話を大切にしましょう。 ④ 家族の一員としての役割をもたせ取り組ませましょう。	⑤ 十分な睡眠、バランスの良い食事をとらせましょう。 ⑥ スマホ・ゲーム・テレビ使用に関する家庭のルールや時間を決め、守らせましょう。
地域教育	○地域コーディネーターの活用による教育活動への理解や協力 ○地域での交流事業 ○スポーツ少年団等のスポーツ活動や文化活動等の指導 ほか		

